

平成20年度第2回（仮称）広域リサイクルセンター基本計画策定委員会会議録

日 時 平成20年7月14日（月） 午前10時 ～ 正午
場 所 寒川町クリーンセンター 2階・会議室

出席者委員 13名

・市川元久・小嶋政幸・亀山直平・井上隆男・佐藤忠・杉山六郎・小嶋龍巳
・磯川彰・吉田和正・後藤勤・前嶋笑子・海老根照子・関口光男

欠席委員 1名

・吉田信雄

町出席者

・須藤部長・関野課長・石塚主幹・関本副主幹・徳江主査

会議開催前にクリーンセンターの見学を行い、資源物の処理の現状について確認した。

10:00 ～ 10:30

1. 開 会 ……須藤部長より開会 司会進行は石塚主幹

2. 議 題

○（仮称）広域リサイクルセンター基本計画の目次（案）について

基本計画を策定していく中で、必要と思われる内容について整理し、目次（案）として提示した。今後はこれを元に委員会での検討を進行していきたいと考えていて、内容は前後するかもしれないが、項目ごとに検討を進めていく。

今回は、施設の根幹となる基本方針と施設規模を検討するのに必要な計画処理量等について検討をいただきたい。

（1）（仮称）広域リサイクルセンター基本計画の基本方針について
（以下「リサイクルセンター」と表記する。）

（議 長） 事務局より説明をお願いします。

（事務局） 資料について説明

（議 長） 事務局より説明が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。

質 疑

（委 員） 3点ほど聞きたい。

①プラザ施設で家具などの再生品等を展示・販売を行う予定があるか。

②2施設で相互受け入れをすることだが、今後ごみの量が減っていく中ではどのように考えているのか

③搬入車輛や搬入ルートについて基本計画の中に明記されるのか。

（事務局） ①家具などの可燃粗大ごみは、今後は茅ヶ崎市の環境事業センターで処理することになるので、現状では家具の再生品等の販売は考えていない。茅ヶ崎市からこちらに来るには距離的な問題と合わせて湘南東ブロック広域化実施計画策定時のパブリックコメントの中でも、これらの施設は駅に近い等の利便性を考慮してほしいとの意見があったため。

②今までは最大排出時の量を処理できるように施設を作っていたが、今回はそれより少ない規模で2施設を作ることになるので、双方で建設費を縮減でき、管理費上でも節約できることになる。資源物は収集回数を増やすなど、安定的に処理するように考えていく。

③別の項目時になるが検討を行い、明記する。

(委員) 自転車の再生等、寒川独自の施策として行うことはどうか。
(事務局) 自転車等は不法投棄や盗難車輛の問題があるので整理していきたい。
茅ヶ崎市と寒川町は同じ形態として整理していきたい。

(委員) 基本方針については、項目として盛り込まれていれば良しとするか。それともそれぞれについて掘り下げていくのか聞きたい。詳細の内容についてはどこで討議していくのか。

(事務局) 基本方針は大枠の内容なので、具体的な内容は今後協議する。

(委員) 何点か確認したい。

①資源化を進める一方で、燃やす方がコスト的に有利だという考え方もあり、どこに軸足を置くのかしっかきとしておく必要があるがどうか。

②今回の委員の方々は専門家でないので、会議資料等の説明においては、「3R」等の用語も含めて細かく行う必要があるのではないか。

③藤沢からさがみ縦貫道路インターまで(仮)湘南台寒川線が計画されているが、これが開通することでリサイクルセンターが将来大きな拠点になる可能性がある。これを考慮した施設方針とするべきではないか。

(事務局) ①確かに燃やす方がコスト的には有利な部分はあるが、容器リサイクル法をはじめ、再資源化を進める方向で国等も動いているので、町としても同様に進めていこうと考えている。

②今後は用語等の意味など説明は細かく行い、資料には注釈を付けるなどわかりやすいように工夫する。

③プラザ部分についてはルート等もふまえて検討していきたい。

(2) (仮称) 広域リサイクルセンター基本計画の計画処理量について

(議長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 資料についてコンサルが説明

(議長) 事務局より説明が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。

(委員) 紙は紙製容器包装だけが対象となるか。

(事務局) 紙製容器包装を含んだ雑誌等の雑紙類である。ここで直搬分との表記があるが、これは住民の方々が直接持ち込む分のみをさしている。次のように寒川町と茅ヶ崎市で処理方法の違いがあり、現在調整中である。

茅ヶ崎市 市内各地から収集して直接処理業者へ搬入

寒川町 町内各地から収集して一度クリーンセンターへ搬入し、分別した後に処理業者へ搬入

処理方法によっては計画処理量も変更になるので、決まり次第、お知らせして検討をいただく。

(委員)
(事務局) 寒川町と茅ヶ崎市で合意が取れる前提なのか。
寒川町ではクリーンセンター取り壊しに絡み、紙類は一時的に置き場から処理業者へ直接持ち込む形で調整している。リサイクルセンター稼働後もそのまま行く可能性もあるが、決定はこれからです。
茅ヶ崎市とは全部が懸案となっているわけではなく、基本的な合意ができているものもあり、一部が調整中です。

(委員)
(事務局) 町として直接業者に持ち込むことはどう考えているのか。
業者に分別を任せることになるため、買い取り価格に関連する問題もあるので慎重に検討したい。

(3)その他

(委員) 資源化を進める基礎となる容器リサイクル法等があるが、法令改正があり内容が変わってきている。(財)日本容器リサイクル協会から講師を呼んで、法令等についての理解を深める講習会等を開くのを提案したい。

(事務局) 施設見学会を開催する予定ですが、8月下旬もしくは9月あたりで検討したい。視察先と調整し連絡するのでぜひご参加いただきたい。

(委員長) クリーンセンター建設時に小動地区へ下水道整備を進めていくという話だったが進んでいない。また、公園もない。この辺を考慮して施設整備をお願いしたい。

3. 閉会

(副委員長) 閉会の言葉を述べて閉会となる。